

議会報告会アンケート ご意見・ご感想欄への記載内容 ～原文のまま掲載しています～

No.はアンケート集計上の整理番号です

No.1 調布市（富士見町）男性（50代）

- 議会改革への要望

議事録の作成を出来るだけ早くしていきたいとの回答を高く評価します。会議配布資料も見られるようにしてください。傍聴時のみではなく、検索システムから閲覧が出来るように。板橋区公文書館が参考になると思います。早期実現を期待いたします。

- 総務①市役所庁舎について

借地なのは驚きです。市の土地に建てるべきです。最初から考え直すべき。免震改修の総額はいくら？敷地条件調査は不必要です。行政施設のありようを根本的に論議して下さい。小学校以外の施設は市内のあちこちの場所を順次移動させては如何でしょう。役所は調布駅の近くにあるべきとの固定観念を捨てて下さい。便利の方々はいつも便利。不便な方々はいつも不便との不公平の解消を。建替えは、仮施設、2度の引っ越しの大変さをしっかり認識すべきです。床面積が現在の2倍以上必要な根拠を提示願います。

- 厚生

生活支援コーディネーター、保育コンシェルジュ。既存のものが機能していない、不十分なので新設と思いますが、要は人材不足。広い視野・見識をお持ちの方にリーダーになって頂き、人材養成から検討して下さい。市民の中にはリーダーになるべく人材がきっといるはずです。

- 建設

安全な生活道路、通学路を早期に。石原小学校通学路で交通事故がありました。石原小通りはガードをなくし、歩行者最優先の段差のない平坦な道にするのも一考かも。

- アンケート

○か×かでなく、中間の選択肢を入れて下さい。

No.2 調布市（ ）男性（20代）

• 当議会報告会や市長が行うふれあいトークキングなど、調布市は市民の声を積極的に聞いていると感じている為、調布市は住民にとてもよりそっている自治体であることを再確認した。また議会や議員の方々から市や市民の為にいかに尽力されているかを知る事が出来たので、今日はとても有意義な時間を過ごせた。特に普段はかかわれない議員の方々と直接ふれあえる貴重な機会だったので、これからも続けて欲しい。

No.3 調布市（菊野台）男性（20代）

• お手洗いの話がありましたが、3年後の五輪までに改善した方がよいと思います。外国の方や地方の方の評価もありますし、治安面でも必要だと思います。

No.4 （ ）（代）

• 議会報告会を継続して実行していただき感謝しています。

参加している者として、この会に参加する目的のひとつは、自分が住んでいる町・自治体の実

態や特に取り組まれていること課題などが知りたいということです。1時間の説明の中で、全体像をつかめるようにするのは難しいと思いますが、将来も見通しながら市民も共に承知し、共に検討できればと思います。必要な問題点についての現状と、今の取り組み、今後見込まれる課題などが見えてくるとよいと思います。せっかくいろいろな立場の市民が集まってくる場ですので、各々の立場からご意見を出し合い、議会と市民で意見・情報を共有する場にしてみてもよいのではないかと思います。

・補助金をなるべくとれるようにするとの市長の話があったが、補助金をとることで調布市独自の計画が進めにくくなるのではないか。

No.5 調布市（ ）（代）

【1】全体の感想

第6回議会報告会を開催されたことを評価します。市民と議会が率直に話せる場として、一層発展させていただきたい。4年に1週間に加えて、半年に2時間。

- ・報告内容が薄い（わかりやすいのはよいが突込みがない）、資料が白黒印刷対応していない、行政の報告と変わらない？議会独自の活動は？他自治体の）
- ・5つの項目（全体、4委員会）に加えて、以下のような項目を入れるだけでも違うはず。
- ・特別委員会（調布飛行場：事故、広域交通：外環）なども取り上げないと
- ・議会独自の活動（他自治体視察報告：提案などへの調査のはず）
- ・議会改革など

【2】配布資料（や発表内容）は要改善

- ・見た目に時間かけるより中身の充実を。
- ・市政の重点テーマや市議会の生き生きした活動が見えない。何かあると思うが、書かないとないのと同じ。昨年からの進展を示すべき。
- ・既存資料を活用する。市議会だよりを付けているのはよいが、財政では市報ちょうふ4月5日号も配付すべき。
- ・もっと市民が知りたい情報量と質を増やすべき。発表した項目の取舍選択や中身に疑問あり。
- ・配布資料は白黒印刷だから、それでも区別できる色や記号にすべき。昨年から改善なし。（背景に重なって読めない：P6上下。グラフの交差する線：P27上など）
- ・民生費が全体の50%を占めるほど多いのだから、その内訳を円グラフ（P2下）に記載すべき。分析する観点が欠如。市報ちょうふ（4月5日号）も同様で、高齢者の市民と子育て市民で関心が違うはず。なお、厚生委員会で内訳を時系列で記載していることはよい。（P27上）（東京都の広報では、昨年「福祉と保健」「教育と文化」などに分けている。）
- ・建設委員会の資料は最低（写真だけでは何を言いたいかわからない。口頭で話すことも載せない）

【3】開かれた議会をめざして

- ・「開かれた議会をめざして」は大切な言葉であるが、議会の現状がそこにどれくらい近いのか遠いのか？「市民と一緒に」を考えていかないと実現しない。
- ・閉会の言葉で「出席者が少なかったらどうしよう？」に対して、今回出席者が20数名もいたことは、市政に大きな問題（駅前広場再開発）がある（った）こと（失政）の反映で、手放して喜べない。お任せ民主主義のぬるま湯に市民、議会、行政がどっぷりつかっている結果かもしれ

ない。

- ・駅前でチラシを配ったり、呼びかけしている努力は評価する。市民の反応（無関心）をどうとらえるか？
- ・この議会報告会も形骸化しつつある。一旦壊して再度つくることも必要。議会改革についての意見が出されていたが、議会報告会（も要改善多いが）以外に見るべき改善はあるか？議会基本条例がどれくらい活用されているか、PDCA サイクルで評価が必要。
- ・時間が足りない、出席している市民の関心が違うことも。ひとつのきっかけにしかならないが、その先につながる仕掛けを工夫する必要がある。
- ・テーマを絞った話し合いの場、継続する話し合いの場を別途設けるなどしないと深まらない。年2回にしたのだから、同じ形式でなくてもよい。

【4】総務委員会の発表

- ・内容が大雑把すぎる。
- ・報告1（市庁舎耐震・建替？）検討の到達点や課題を示すべき
14000㎡＞30000㎡の数字のかい離の説明が必要。ただすと、14000㎡以外に既にあふられて外に出ているところの床面積は含まれていないなど、視点を変えれば正しく比較していない数字。
- ・報告2（都市計画税）はよいテーマ。しかし、発表内容は市民の疑問＝議員の疑問程度。その疑問を受けた調査分析結果を発表しないと議員の役割って何なの？
- ・報告3（税金収納事務費）を発表する位置付けは？他にもっと重要なことないの？滞納は、貧困と関係するがその視点は？また、布団をはぐことになるが？

【5】文教委員会

- ・生き生きした中身がない

【6】厚生委員会

- ・一番内容が充実していたが、早口の発表でついていけない、高齢者については時間切れ。
- ・厚生委員会の扱う問題（待機児童・・・）の何が重要課題か示して、そのうえで、特定のテーマに絞った発表にすべきで、その傾向はみられるが、市民の関心事と一致しているか？

【7】建設委員会

- ・全体（環境整備56億円、都市整備71億円）と個別（P35～）の関係が見えないのが欠点のその1。選択の基準がみえない。
- ・個別の内容が写真だけで、あるいは、市民の感覚レベル（臭～い、入りたくな～い）で、議会の調査分析提案結果がみえないのが欠点のその2。
- ・写真でわかりやすく表現していることはよい。しかし、「つつじヶ丘（北）トイレ」の臭いは次のスライドでわかるが、では、どうするのが見えない。口頭で話したことを簡潔にスライドに追加するだけでも違う。
- ・最大の課題「駅前（広場）再開発」（その将来ビジョンを含む）にもっと触れるべきである。

【8】議会だより

- ・改善されているようだが、もっと市民が興味をひく内容にできないか？他自治体も五十歩百歩と言えそうだが、市民の声をいれたり、市民の話し言葉で書かれたりなどいろいろ小さな工夫

をしている自治体もある。市民の声を聴かないと、読まれるものにならないだろう。

No.6 調布市（上石原）女性（40代）

・＜厚生委員会＞

ブースでお伝えしたことと重なるところもありますが、改めて要望を書かせていただきます。

市が保育園を増やすことに力を入れていらっしゃることは、母親たちに生き方の選択肢を増やすという意味でも大変意義あることだと思います。が、保育園の新設は、同時に（認可、無認可に関係なく）幼稚園の規模の縮小に繋がっています。

西調布にあるこひつじ幼稚園は昨年秋に40周年を迎えました。その保育内容は、平成22年に長友市長が来園された際にも評価を受けているものですが、今年度は年長6名、年中5名、年少5名の16名しか園児が集まっていません。認可幼稚園も軒並み定員割れしていますので、無認可幼稚園はなおさらです。

しかし、幼稚園選びをする時期にはこひつじを知らず入園させるチャンスを逃してしまったものの、こひつじのような園の保育を必要としている親が市内のあちらこちらにいます。

幼稚園に入園する3歳頃は、発達に何か問題があるのか、それとも単なる個性なのか結論を出しきれない時期でもあり、いわゆる「グレーゾーン」の子どもを持つ親としては、センターに通わせるのは、幼稚園に入園させられるのか、大きな不安と闘い、結論を迫られる時期でもあります。そういう親にとって、発達センターと幼稚園の併用という選択肢があると、センターでは得られない集団生活を園で経験させ、同時にセンターで専門家のアドバイスを受けることができます。

こひつじ幼稚園は、他の幼稚園で受け入れられなかったお子さんも、可能な範囲で受け入れています。その結果、障がいのあるお子さんがセンターと併用する形で登園したり、センター通いから幼稚園生活へと移行する形で通っていたりするケースが毎年いくつもあります。昨年度は、気管切開をして喉がまだ閉じていない難聴のお子さん、ダウン症のお子さん、軽い発達障がいのあるお子さんが3名、重度の食物アレルギーがあるお子さん、など、少人数の中にも実にさまざまなお子さんがいました。子どもたちは、様々な「個性」をもつお友だちとの「共生」を自然に学び、助け合い、お互いを尊重し合う心を育てています。（児童心理カウンセラーの先生が週に2日程度保育に参加しています。保育時間の後に、希望者には成長に合わせた特別プログラムも組まれています。）

このようなこひつじの保育理念は、福祉や保育園の充実（つまり子育て世代への支援）に力を入れている調布市の指針に沿うものではないかと思います。しかし、残念ながら市のHPで紹介されないため、市民に情報が伝わらないことに加え、無認可であることが一つのレッテルとなり、仮にこひつじを知っている親も「補助金がもらえないから保育料が高くなる」（実際の保育料は19000円です。例えばマルガリタ幼稚園は26000円。）とか、「特殊な園で、何か特別な考えの親が子どもを入れるところ」といったイメージを持ってしまっていることがよくあります。

そこでお願いなのですが、【市のHPに掲載する無認可幼稚園】の条件を作ってください、その条件を満たしている保育施設を市のHPに載せてもらえるよう、働きかけていただけないでしょうか？条件としては、例えば10年？20年？の実績がある、など、市が保育内容を保証するのにふさわしいと思われる項目が考えられるかと思います。その上で、園のHPへのリンクを貼

っていただけると嬉しいです。

センターの方では、センターとして特定の園を勧めることはできないので、ほんのたまに先生が個人的にこひつじの名前を出されることもあるようですが、ほとんど広まりません。センターにお子さんを通わせている保護者の中には、週に1日でも2日でも普通の幼稚園に通わせたい人もいますので、ぜひそういった側面からも、無認可幼稚園の存在価値を評価していただくと幸いです。

・建設委員会についてです。

私は樹木を守る会のメンバーです。これまでの議事録を拝見し、また新しい駅前広場についても調べてきました。これまでの経緯をずっと拝見していると、どの議員さんがしっかりと勉強をして行政に質疑を行なっているかよく見えてきます。そのため、正直なところ最初から建設委員会には不信感を募らせており、ブースでは発言が感情的になり大変失礼いたしました。お許してください。

さて、あの時にも触れましたが、地下駐輪場は作ってしまうと後が大変な施設です。今からでも止めるためのあらゆる努力をしなければ、お伝えしたように、事故か事件が起きかねません。

地下駐輪場に関する疑問点のまとめや、細かい設計図、またメリットデメリットを列挙したものが掲載されているリーフレットなど、これまでに守る会からお渡ししている資料はすでにごらんいただいていると思います。本来ならば議員さんたちが検討し、行政に対して厳しく追及してこられるはずのものばかりですが、市民が肩代わりし、時間と労力、そしてお金をかけて作ったものです。

それらの内容とも重なりますが、今後、議会が大きな責任を問われかねない問題ですので、ぜひお読みください。

特に、守る会のロビー活動に積極的に関わってこられていない公明党とチャレンジ調布21の議員の皆さまは、最後のチャンスかと思しますので、目をお通しください。与党のチャレンジ調布21の議員さん方は、市長さんにも、地下駐輪場について再検討をすることをお勧めください。

◆まず地下駐輪場に関するアンケートの問題点です。1. 地下駐輪場が駅前広場に大きな影響を及ぼすにも関わらず、駅前広場の利用者が対象になっていません。2. 市内全域から無作為抽出した市民を対象に行なっている点も、駅前広場に地下駐輪場をつくる計画ですから、的が外れているのではないのでしょうか。3. 駐輪場で実施したということは、すでに調布駅近くまで自転車を利用している人を対象にしていることとなります。そういう人に地上がいいか、地下がいいか尋ねれば、より駅近に行けて雨でも濡れない地下を選ぶ声が多く集まるのは当然ではないのでしょうか。4. あのアンケートは都市計画が一旦中断してから取られたもので、交通対策課によると、都市計画とは無関係に行われたものだそうです。（ヒアリングで課長からそのように説明を受けました。）しかし、都市計画とは無関係なはずのアンケートには、都市計画申請の際に使われるものと全く同じ案が使われ、そしてアンケート結果は都市計画を再び実行に移す口実となっています。位置づけが非常に不明瞭です。

このように、内容も対象も特定の結果を見越した誘導尋問的なものとなっていることから、市民の合意を得たと結論づけるには足りないアンケートだと思われます。そういったことを吟味することなく、その結果をもって議会は市民の声を聞いたと了承されています。この責任は非常に重いと思います。

◆危険な施設です。

1. 治安上の問題

ブースでも申し上げましたが、地下駐輪場の面積は第一小学校の校庭の面積を超えます。上部にバスロータリーが乗るため、天井を支える柱が60本ほど立ちます。つまり死角が多くなります。

出入り口は南側のスロープの部分と北側の階段のみですので、例えば東側に追い詰められると逃げ場が全くありません。交通対策課の話では、始発から終電までは開放するとのことですが、その間ずっと管理人を置くことはないでしょう。監視カメラが多数設けられているとしても、夜遅くに巨大な地下駐輪場に自転車を取りに行くところをご想像いただくとわかると思いますが、男性でも気持ちが悪いと思います。治安上、問題がある施設だと思われます。

2. スロープは、傾斜や長さなど、ほぼたづくりの地下駐輪場と同じになるようです。（たづくりでは子乗せ自転車など大型自転車は危険なため、優先的に地上を利用できるようになっています。）収容台数が1900台もあるため、下りのスロープは2本ありますが、それでも朝のラッシュ時は秋葉向かう人が次々と下りていくので、混雑することも予測されます。

おそらく危険回避のためだと思われますが、スロープの最初の形状は途中で折れ曲がっていました。（それでも危険性はあると思います。）が、平成27年8月7日の中心市街地盤整備等特別委員会で鈴木議員から要望があり、その後一直線に変更になっています。長い一直線のスロープを下りた先にゲートがあるため、誰かが少しでもゲートで手間取ると、追突が起きる危険性がいっそう増しています。

以前、明石市で花火大会の際、歩道橋で将棋倒しが起きて死亡事故になったことがありました。あの歩道橋は、安全性に問題があることがわかっていながら対策を取らなかったということで、市の担当職員が罪に問われる結果となっています。そのようなことにならないよう、例えばたづくりの地下駐輪場のスロープで朝のラッシュ時を想定した実験を行うなど、慎重に検討する必要があります。

◆駅に地下で繋がりません。そのような地下駐輪場もあり得るとは思いますが、利便性の高い施設からは程遠いです。もちろん、東急前の通りの路上駐輪問題の解決も大きな目的の1つだと思われますが、果たしてこんなに利便性が低い施設で解決するのでしょうか？

◆都市計画の申請の際に面積2900平米と収容台数1900台という数字を明記しているため、この数字は動かせません。実際にこの面積に1900台を収容するには、高低ラックを使わないと収容が難しいのですが、様々な自転車や利用者に対応し、使いやすくするために、市は何度か平置き台数を見直してきています。

最新の決定では、平置き950台、上下ラック950台となっています。実際にこのように自転車を配列してみると、途中で柱が入るため、1台あたり幅が30cmほどしか取れません。市内の無料駐輪場は、整備する人員を置いて30cm幅になるよう並べています。整備の方の話では、取り出すのが困難なため、無料だからこそ文句が出ないけれど、有料駐輪場でこの幅では不満が噴出するだろう、ということでした。

◆災害時の利用について

議員さんからの提案に基づき、災害時に600人が一時避難することを想定されているとのことですが、この地下駐輪場には窓がっさいありません。換気は常時機械で行うこととなります。トイレもありません。停電時の対策は取られるとは思いますが、自転車も置いてあり、窓もなく、万一電気が届かなければ灯りも換気も行われない地下施設に600人も避難させるのは現実的で

はありませんし、二次被害も懸念されます。面積だけから算出した数字を鵜呑みにして、市の言い分を了承されるのはいかがかと思えます。

◆最後に残る大きな疑問は、ブースで地下駐輪場の形状などについてお尋ねした時に、委員長がなぜ「設計図なんてあったっけ？」という発言をされたかです。本当に忘れていらっしまったとすると、それも大問題ですが、知っているけれどごまかそうとしたということであれば、これも大変残念なことです。今後は真摯な対応をお願いいたします。

さらに、設計図の存在を覚えていらっしやらないご様子だったのに、最後の報告では、ブースで出た指摘の通り、この地下駐輪場は事件や事故が起こりうる危険なものだと思う、と私の発言を認める報告をされました。なぜ設計図もご存じないのにあっさり認められたのか、不思議でなりません。

こちらの話し方が乱暴になってしまったので申し訳なかったのですが、私は、とにかくこの地下駐輪場の利便性が低いことだけでなく、色々な危険性を孕んだものだということが心配で仕方がありません。

19億円。自転車1台当たり100万円。坪単価240万円。建設費は補助金でかなりまかなえますが、維持費と解体費はすべて市の負担です。通常、建設から解体までにかかる費用は建設費の4倍と言われているそうです。飛田給の地下駐輪場はすでに雨漏りしているそうですね。そういうことが当然起こるでしょう。そして、散々お金をかけても、鉄筋コンクリートの寿命は50?70年ということですから、その時にはまた解体です。上部で育った樹木をまた撤去し、埋めるのでしょうかね。

お金をかけ、樹木を失い、タコ公園を失い…そこまでして作る価値がある施設でしょうか？これまでの経緯を覆すのは大変なことかもしれませんが、議員の皆さまも、一市民として、果たしてこの地下駐輪場を使いたいと積極的に思われるか考えてみていただけませんか？女性議員の皆さま、女性市民にも勧められますか？東急にちょっと買い物に来た時にわざわざ停めに行く気になるのでしょうか？災害時に潜る気になるのでしょうか？

守る会が代替案として思いついたのは、技研のエコサイクルやJFEのサイクルツリーなどの機械式円柱型の地下駐輪設備です。先日、八王子で見学してきましたので、よろしければ動画をご覧ください。議員さんの中には交通対策課に提案された方も何人もいらっしまったようですね。その時に「傘などを乗せたまま利用して止まってしまう例が後を絶たない」といった説明を受けて納得させられていたようですが、その頃から進化していて、港区でもさらに増設される予定です。（リーフレットにもメリットなど載せていますのでぜひご覧ください。）

- 入庫はスムーズにいけば5秒くらいでその場を離れます。

<https://youtu.be/DwbXMeH3EFs>

- 出庫は地下のどの辺りに収容されているかによりますが、13秒程度で出てきます。

<https://youtu.be/BuRUOQezWec>

これならば、買い物に来た人のちょこっと駐輪にも、電車利用者にも利便性が高く、またワールドカップやオリパラでも良いアピールになるのではないかと想像しています。（今からでも工事は間に合います。）

このままでは木が一本もなく、アスファルトで塗り固められたただっ広い広場になってしまう調布駅前に、それも真夏の暑さの中、外国の方が来てくださるかどうかは、あまり期待できない

かもしれませんが…。

最後に、市民会議にいらしてください。委員も傍聴者もみんな真剣です。議会だけが蚊帳の外に置かれるようなことにはなってほしくはありません。

先日、テレビの取材を受け、放送されました。

[https //youtu.be/83qfounzuk4](https://youtu.be/83qfounzuk4)

私たちの主張は住民エゴではない、との番組制作者側の判断に基づき、放送されたものです。多くの市民が注目しています。どうぞより良い駅前広場の実現のために、また市民の安全を確保するために、いま一度駅前広場開発についてご検討ください。よろしく願いいたします。

お読みくださってありがとうございました。